

## 小規模特別養護老人ホーム 昂

### 平成 27 年度事業報告書

#### 1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

区 分	職 名											合 計
	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士(管理)	事務員	環境整備員	
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	2		1	1	16	1			24
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			5		1	1	7
現 員 計 ②+③=④	1	1	1	2	(1)	1	1	21	1	1	1	31

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、[ ] 内で記入。

#### 2 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男性	女性	計
入居者数	2人 (0人)	5人 (2人)	7人 (2人)
退居者数 (亡くなった方を含む)	4人 (4人)	3人 (1人)	7人 (5人)
年度末現在の入居者在籍数	8人 (0人)	21人 (0人)	29人 (0人)

( ) は、短期入所利用者数を示す。

### 3 利用者処遇の充実の状況

#### (1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	1 2	0	第1水曜	㊟・無	施設長・ケアマネ・各ユニットリーダー・看護師・栄養士・相談員
ケース会議	1 3 1	2 2	随時		居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・相談員、ケアマネ
入所判定会議	1 2	2	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	1 0	0	第3水曜		全職員

#### (2) 機能訓練実施状況

(当該年度 年間実績)

##### 個別機能訓練

歩行訓練等（平行棒）：週1回実施 5名 週2回実施 1名  
 歩行訓練（ユニット内）：毎日3名  
 関節可動域訓練：週1～2回実施 4名 週5回～毎日 4名  
 下肢マッサージ等：週5回～毎日実施 4名  
 嚥下機能訓練（嚥下マッサージ）：毎日実施1名

##### 生活上機能訓練

作業レク（折り紙・塗り絵・書字等）：随時  
 トイレ内動作訓練（立位保持等）：毎日13名  
 洗濯物たたみ・箱折等：毎日実施1名

その他 歯磨き・更衣等の日常生活関連動作の促し：毎日19名

#### (3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度 年間実績)

施設としてどのような体制（例：責任者の設置等）を整備しているか。

→苦情受付の担当者を定め、虐待（の疑い）があった場合には、口頭又は施設内に4か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。

施設としてどのような取り組み（例：研修の実施、掲示等）を行っているか。

→平成27年度、法人全体として身体拘束・虐待防止の研修を開催し、虐待に対する意識を高めた。また、運営会議メンバーにて虐待防止委員会を年に2回開催し、施設内の対応が虐待にあたるか検討している。行っている介護が不適切ケアに該当するかどうかのアンケートを実施し、職員全体会議にて注意喚起を行っている。入居者間の人間関係に留意している。苦情等の相談（虐待を含む）責任者を設置し、窓口等の案内を施設内に掲示している。

(4) 嘱託医師の回診の状況

(当該年度 年間実績)

週 1 回水曜日の午前に昴診療所にて嘱託医による往診を行なっている。

また、午後より各受診を入れられるようになっている。

往診内容：入居者の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入居者および御家族への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入居者の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。

リスクマネジメント：誤薬防止について江川医師より直接ユニット職員全員にダブルチェックの必要性、職員の体調不良時や、注意力低下時についてのフォローの話をし、朝礼で啓発する。

(5) 食事の状況

(当該年度 年間実績)

食事時間

朝食 7:30～9:00 昼食 12:00～13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30～19:00

食費

朝食、昼食、夕食 = 1,430 円 (減額有) おやつ = 67 円

食事形態 (在籍者数 平成 28 年 3 月 31 日現在 29 人)

常食	一口大	ミキサー食	ムース食	経管栄養
9 人	10 人	4 人	4 人	2 人

代替食

各入居者の好み等により個別に対応 (ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等) 栄養年報 (平成 28 年 3 月 31 日現在) (※経管栄養の方を除く)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,548Kcal	60.0 g	35.0 g	747 mg	9.2g
給与栄養量	1,542Kcal	60.8 g	34.5g	682 mg	9.2g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

区分	入浴内容	一般浴	特別浴	リフト浴
利用 (入浴) 者数		436 人	1,343 人	1,141 人
1 人当たり週回数		週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施 (曜日)		(月～土曜日)	(月～土曜日)	(月～土曜日)
入浴時間帯		10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分	10 時 00 分 ～16 時 00 分
介護員数		1 人	2 人	1 人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
有	有	有	全身搔痒感があり、掻きまわってしまいできた傷より感染する恐れがあるため

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

4月	お花見外出
6月	海へのドライブ
7月	フラダンス
8月	山二ツ諏訪神社大祭
9月	敬老会
10月	紅葉ドライブ
11月	人形劇
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	寿司屋台
3月	雛祭り

\*その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

(当該年度 年間実績)

全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを実施。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。

また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。

避難訓練について、12月28日と3月22日に実施。4月の避難訓練は2回目の夜間の避難訓練を想定で行った。2回目の夜間想定という事もあり、避難誘導に当たった職員同士の連携は昨年9月に行った訓練より連携はうまく取れてきている様に思われる。また初めての職員に関しては、今後の課題も残った。今後も新しい職員の防災意識を高める事と共に、他職員の防災への意識を今以上に持ってもらい新しい職員の指導を担えるように働きかけをしていきたい。

(10) 運営推進会議の状況

(当該年度 年間実績)

開催日：2ヶ月に1回 第4水曜日 13:30～14:30

構成員：地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 地域包括支援センター  
入居者代表 御家族代表 第三者委員（大学教員） 施設関係者（法人本部）  
当該事業知見者 当該施設代表（施設長） 当該施設職員（介護支援専門員）

内 容：入居状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等）

事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告

サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言

その他 前回懸案事項についての報告・回答

#### 4 苦情解決体制の整備の状況

##### (1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

入居者への 周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無	
解決方法の 公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ②		有 ・ ②	重要事項及び契約書 に記載・施設内掲示

##### (2) 相談受付件数及び概要

(当該年度 年間実績)

相談件数 1 件

苦情件数 1 件

#### 5 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

(当該年度 年間実績)

##### 短期入所生活介護（空床型）について

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

##### 年間実績

前述、入院による空床期間や入所されるまでの空き期間で年間延べ 2 名の方が短期入所生活介護を利用される。

##### 問題点

急な空床に伴うご利用者及び居宅支援事業所等への連絡のご案内をするも、期間限定での利用ため居宅支援事業者からの問合せに対し、利用期間が合わないためお断りさせていただく場合もあった。

##### 対応策

新潟市内の送迎可能な地域の居宅支援事業所に直接訪問し、空床の案内を連絡したり、SS をご利用しながらそのまま入居という流れで行けるように配慮し、空床期間が少ないようにした。

## 6 待機者の状況

(当該年度 3月31日現在)

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数(人)	1	3	7	8	3	22

\*待機者の現況確認を実施した結果、他の施設に既に入所された方やご逝去された方多かったため待機者減少した。

## 7 職員の資質の向上等人材育成の状況

### (1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・ケアマネ・相談員・栄養士・各ユニットリーダー
職員全体会議	10	0	第三水曜	有・無	全職員
ユニット会議	36	0	各委員会 定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会 定例日	有・無	委員会責任者・各委員長 各ユニット担当職員

### (2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

	研修名	実施 年月日	対象者	参加 人員	内容
施設内 研修	緊急対応研修	4・23	全職員		講義
	法人必須研修（倫理規定、プライバシー保護、接遇、電話対応、苦情処理の対応）	5・21	全職員		講義
	緊急対応研修	5・28	全職員		講義
	緊急対応研修	6・25	全職員		講義
	食中毒勉強会	7・10	全職員		講義
	緊急対応研修	7・23	全職員		講義
	看取りセミナー伝達講習	7・25	全職員		講義
	口腔ケア研修	8・11	全職員		講義

施設内研修	緊急対応研修	8・27	全職員		講義
	緊急対応研修	9・24	全職員		講義
	緊急対応研修	10・22	全職員		講義
	リスクマネジメント勉強会	10・24	全職員		講義
	ユニットケア伝達講習会	10.29	全職員		講義
	緊急対応研修	11・26	全職員		講義
	緊急対応研修	12・24	全職員		講義
	感染勉強会	12・18 12・24	全職員		講義
	緊急対応研修	1・28	全職員		講義
	緊急対応研修	2・25	全職員		講義
	緊急対応研修	3・24	全職員		講義
施設外研修	社会福祉施設関係職員研修	6・02 6・03	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	7.02 7.03	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	8・26 8・27	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	9・07 9・08	介護職員	2	講義
	社会福祉施設関係職員研修	9・24 9・25	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	6・25	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	7・09	介護職員	2	講義
	社会福祉施設関係職員研修	6・04	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	8・28	介護職員	2	講義
	社会福祉施設関係職員研修	9・01	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	9・17	介護職員	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	9・18	施設長	1	講義
	社会福祉施設関係職員研修	12・08	介護職員	1	講義
	スワンプラザ看護セミナー	5・26	看護職員	1	講義
	社会福祉施設における安全衛生 担当者に対する安全衛生教育	9・02	管理者	1	講義
	介護職員の為の腰痛を防止する 介護技術コース	9・07 9・08	介護職員	2	講義
	第42回国際福祉機器展	10・08	介護支援専門員	1	セミナー

施設外研修	ユニットリーダー研修	10・26 ～ 10・28	介護職員	1	講義 グループワーク
	看取りケア研修	12・08	施設長	1	講義 グループワーク
	ノロウィルス食中毒予防セミナー	11・26	施設長 管理栄養士	2	講義
	介護ロボット「重点分野別」講師養成研修会	12・17	介護職員	1	講義
	新潟県介護支援専門員実務従事者基礎研修	11・16 11・17 11・24 11・25 12・09	介護支援専門員	1	講義 グループワーク
	福祉マンパワー講習会	2・17	介護職員	1	講義
	新潟県特別養護老人ホーム看護職員研修	2・15	看護職員 介護職員	2	講義 グループワーク

## 8 建物・設備等の保守点検の状況

・危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3月31日現在)

危険箇所	具体的な状況	今後の対応
各階非常口の鍵と各居室の鍵	1・2階非常口の鍵がすぐ開放できる状況になっており、各居室の窓も人の出入りが可能なほど開放できる状況になっていた。	(株)廣瀬に依頼し、1・2階ともプラスチック付きの鍵にしてもらった。各居室の鍵はホームセンターで窓の開放の度合いを調節できる物を購入し、取り付けた。
消雪ポンプ	降雪の為、試運転したところ順調に放水できていたが、一旦降雪がなくなった為ポンプを止めた。その後再運転したところ水が出ない状況になった。	業者に確認後、ポンプについているパイプが変形していた為、水がもれてしまい呼び水が貯水できなかった。パイプを交換し通常に稼動した。